

1 概況

知多西部及び西三河地区では冷蔵網1～6回目の摘採をしています。東三河地区では秋芽の6回目を摘採しています。知多東部地区では引き続き生産が見合わせられています。栄養塩は、知多西部地区では増加傾向にあり、西三河地区では減少傾向にあります。また、知多東部地区では低い状況が続いています。植物プランクトンは全地区で目立って増加しているところはありません。潮位は、先週まで予想潮位よりも高めに推移していましたが、今週に入ってから概ね予想潮位並となっています。

寒い日が続いていますが、今後は暖くなる日が多くなってきそうです。水温の上昇とともに、あかぐされ病の拡大も懸念されることから、早期摘採と適切な網管理を心がけ、網を健全に保ち、しっかりと漁期末まで摘採できるよう努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月24日			<水温> 2月25日			<潮位偏差> 2月24日		
1～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	6.7℃	漁生研 (-3.0m)	10時水温	8.3℃	名古屋港	日平均偏差	±0 cm
	平年差	-0.8℃		平年差	-1.6℃		5日平均偏差※	+3 cm

※2月20日～24日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	北中部: 多い～やや多い、南部: やや少ない～少ない	なし	植物プランクトンは少ない
知多東部地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見
西三河地区	やや多い～少ない	なし	植物プランクトンは散見～ほとんどいない
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: μg/L) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温は、平年並か平年より高い日が多い見込みです。最低気温は、期間のはじめは平年並か平年より低く、かなり低い所もありますが、その後は平年並か平年より高いでしょう。降水量は、平年並の見込みです。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病症害その他
知多西部地区	冷蔵: 1～5回 後期冷蔵: 1回	冷蔵: 800～1,500枚 後期: 500～600枚	色調回復傾向 一部でガサつき、穴	一部でカモ	あかぐされ病散見
知多東部地区	-	-	-	-	生産見合わせ中 大井で生産終了
西三河地区	冷蔵: 4～6回	300～1,000枚	色調回復傾向 一部でガサつき、穴	なし	あかぐされ病散見
東三河地区	秋芽: 6回	1,000枚	色落ち (一部色落ち軽微)	なし	第8回共販へも出荷予定

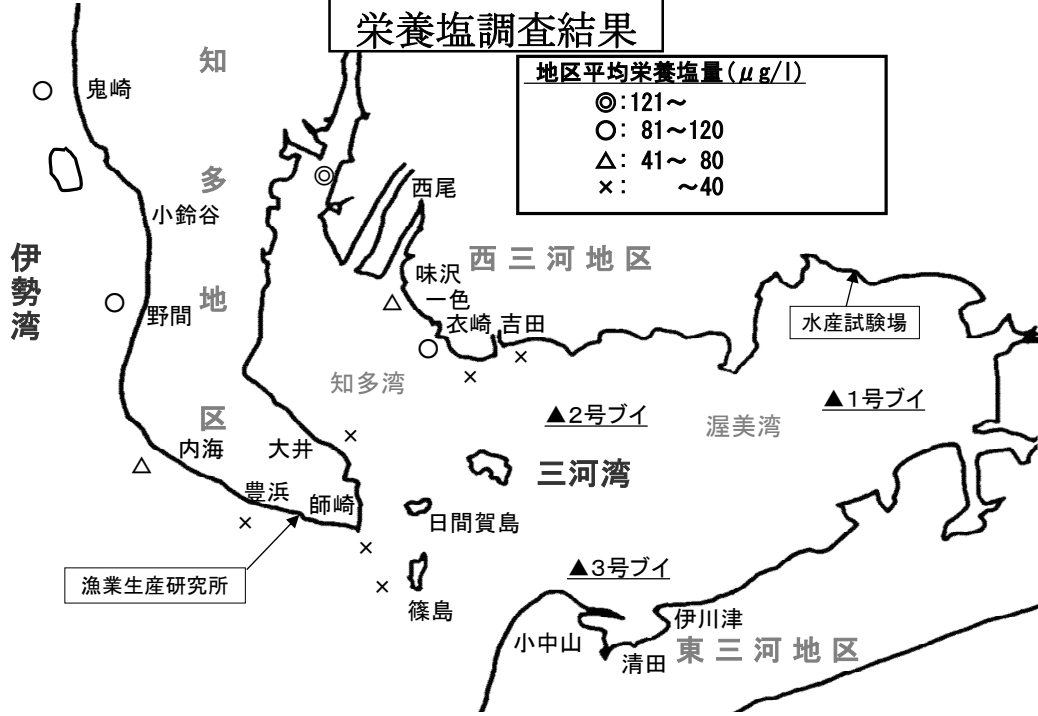
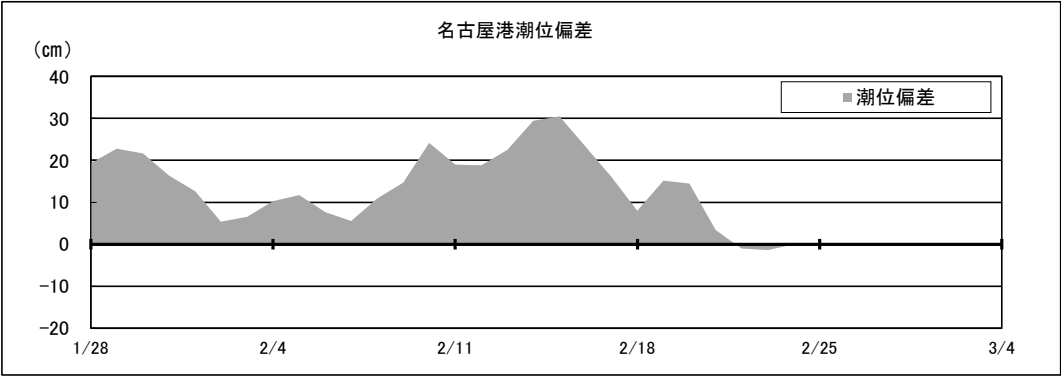
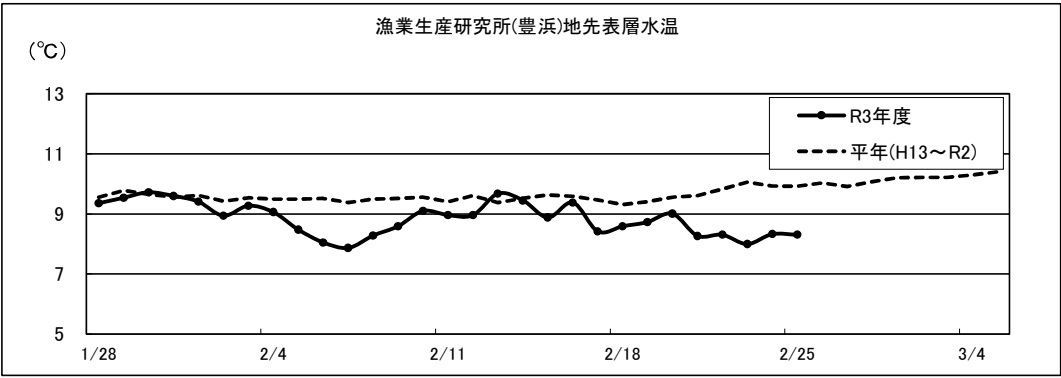
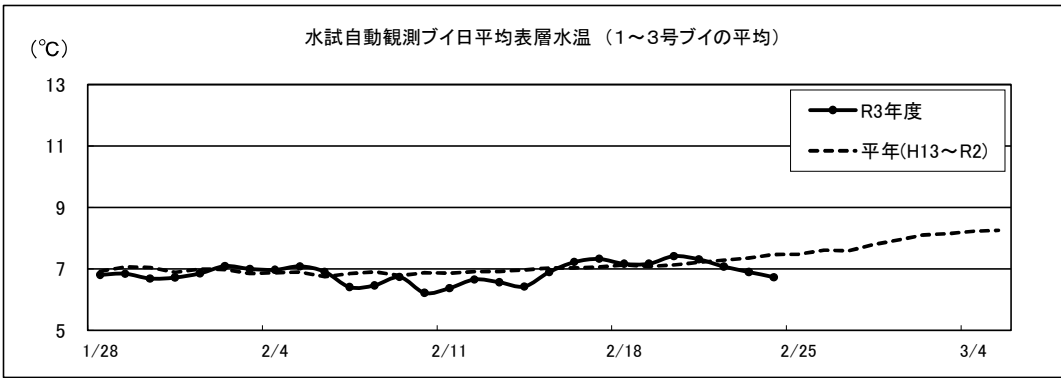
4 今後の管理

- あかぐされ病及び色落ち予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。
- 次年度に使用する種苗は、地先での養殖成績を参考に、早生と晩生を混合すること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することができます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
令和3年度の「のり養殖情報」は**今回で終了**となります。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日: 知多、西三河: 2月24日 (木)
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会